

久留米大学御井図書館所蔵

ハーウッド文庫

マイクロ版集成

The Herwood Library of Accountancy including Books
printed between 1494 and 1900

16ミリマイクロフィルム 208リール

セット特価¥4,160,000(税別)

大東文化大学経営学部教授 商学博士 片岡 泰彦

ハーウッド文庫は、ニューヨークのハーウッド公認会計士事務所が所蔵していた1494年から1900年にわたる簿記・会計学に関する貴重な文献のコレクションである。蔵書の中には世界最初に出版された複式簿記文献・パチョーリの「スムマ」(1494年)や、世界最初の複式簿記原稿であるコトルリの出版本(1602年)等、極めて重要な著書が含まれている。全1,320冊に及ぶ文献は、イタリア、イギリス、ドイツ、オランダ、フランス、スペイン、アメリカ他など、多くの国々にわたる。まさにこの文庫のみによっても、十分にヨーロッパ会計史研究のための文献上の充足が計れると言える。今までは、その存在価値を知りながらも、目にすることができなかったものが、今回丸善の出版により、マイクロ版を通して自由に手にすることができるようになったことは、誠に喜ばしいことである。簿記・会計学の本質を極めるためには、まずその根本たる歴史の研究が不可欠である。その意味から、原典を通して、簿記・会計学の研究をすることは極めて重要なことと言えよう。

出版・発売

 丸善

コレクションの内容について

このコレクションには、簿記・会計学の歴史において知られている重要な文献が多く含まれていますが、これらの文献は今日では極めて入手が困難になっています。代表的なものを挙げると次の通りです。

【イタリア】

簿記に関する世界最古の著書と言われるパチオリの「簿記書」(Summa de Arithmetica, 1494)を初めて、イタリアにおいてパチオリに次ぐ第2の簿記書を出版したタリエンテの商業便覧(Opera che...ragione de mercatia, 1525)、草稿としてはパチオリより遥かに古く1458年に完成されていたといわれるコトルリの簿記書(Della mercatvura et del...1602)、簿記の実務に貢献しパチオリの簿記を簡約化して体系的な帳簿を新たに著書に採り入れたマンゾーニの簿記書(Qvaderno doppio col svo giornale, 1540)など66書。

【オランダ】

オランダの数学者で伝統的な中世風簿記法から脱却した理論を打ち立てたステファンの簿記書(Verrechtig van domeine, 1604)、イタリア式複式簿記法を採用しオランダの商業・簿記論を論述したデサグリエの著作(Grondig onderwys inhet Italiaans boekhouden, 1760)、オランダの簿記発達史に重要な役割を果たしたオーズホッフのイタリア式簿記法(Eenvoudige en...Italiaansch of Koopmans boekhouden, 1814)など43書。

【イギリス】

コリンズが著したイギリスにおいて工業会計に触れた最古の文献の第2版(An Introduction to merchants accounts, 1664)、多桁式仕訳帳制を提案したハミルトンの簿記書(An Introduction to merchandize, 1777)、原初的の分割仕訳帳制の発展を示したディルワースの簿記書(The young book-keeper's assistant, 1772)、イタリア簿記法を避けイギリスに合った単式簿記法を主張したハットンの著作(A

complete treatise on practical book-keeping, 1801)、クラークの土地管理人のための簿記法(The landed-Man's assistant, 1715)、ジョーンズ式簿記(Jone's English system of book-keeping, 1796)のほか、デフォー、ダヴェナント、キング、メアー、マリーンなど336書。

【中央ヨーロッパ】

特殊仕訳帳・総合転記の提唱者としてドイツ簿記史で知られるロイックスの著作(Theorie und Praxis des Doppelten, 1820)はじめ、イタリア簿記を応用したオーストリア、チェコスロバキア、デンマーク、ドイツ、ハンガリー、ポーランド、スウェーデン、スイスなどの簿記書140書。

【フランス・ベルギー】

フランス人による最初の複式簿記論であるサヴォンヌの著作(L'arithmetique de Pierre Savonne, 1571)、フランス商事法令の起草者サヴァリーの著作(Le parfait negociant, 1712)、フランス式簿記法の先駆者ド・ラ・ポルトの簿記書(Le guide des negocians et tenevrs de livres, 1685)のほか、ドグランジェ、ジロドー、イルソン、リカールの簿記書など62書。

【スペイン・ポルトガル】

1590年に出版されたペレスの算術論(Arithmetica, 1590)をはじめとして、18-19世紀の簿記書、商事法令など16書。

【アメリカ・カナダ】

1796年に出版されたミッチェル(New and complete system of book-keeping, 1796)や1804年のターナー(An epitome of book-keeping, 1804)のものなど初期の簿記書のほか、福沢諭吉の「帳合の法」(明治6年の初版がコレクションには含まれている)の原著であるブライアント及びストラットン共著の商業簿記教科書の諸版(The new Bryant and Stratton common school book-keeping, c.1878)やコルト、コマー、クリテンデン、ダフ、ディルワース、プレストンなど1850

年から1900年までに出版された簿記書の諸版が568書。

原典研究の必要性

このコレクションは、上述のように簿記書の最古のものとして知られている1494年のパチオリの簿記書を筆頭に、イタリア式複式簿記法のヨーロッパへの普及と簿記法の変遷、特にイギリスの簿記とアメリカの簿記・会計学の発達の歴史的研究に必要な文献が揃えられています。

【欧米の簿記理論の発展】

1) パチオリの複式簿記法のヨーロッパへの伝播と簿記理論の発展過程を、さまざまな古典を通じて把握することができる。

【現代会計学の諸問題の解決】

2) 「会計学発達史」の著者リトルトン教授が“企業取引の基礎的本質とその組織的記録の必要性は時代を通じて変わらなかった”と述べているように、現代会計学における未解決の会計実務の領域の研究と問題解決には、会計の歴史に関する知識の習得が重要とされています。各時代の中で使用されてきたこれらの歴史的記録を研究することによって、(a)現在の会計問題の歴史的基礎を理解し、それによって(b)現在の問題と同様な問題に対して過去にどのような救済策が施されて来たかを解明し、(c)解決されるべき問題と会計の歴史的基礎を踏まえて、現在の会計問題にとっての最良の解決策を正確に見い出すことによって、現代の会計学が直面する諸問題を解決することとなる。

【英・米簿記理論の比較研究】

3) イギリスとアメリカの英語文献が900冊近く揃えられ、世界経済の驚くべき拡大の時代であった1870年代から1900年までのイギリス会計とアメリカ会計の発達期の研究にとって不可欠なものとなっています。

特にこれらの文献によるイギリス会計との比較研究を通して、アメリカ会計を歴史的および理論的な視点から理解し、その会計理論と実務の基礎的性格づけを行うことで、アメリカの会計学が直面している諸問題を解決するために不可欠。

【欧米会計学の日本への影響】

4) 明治以来の日本企業会計制度の展開過程において、持続的にその根底にあると考えられるイギリス会計制度の独自の展開過程を、その特性に即して理解すると共に類型的な比較考察を通して、わが国の会計制度がその独自の近代化過程のなかで抱え込んできた諸問題の社会的、歴史的意味を理解する上でも有益。

以上のように近代ヨーロッパにおける簿記・会計学の歴史的発展過程を研究するだけでなく、現代会計理論と実務を理解するための史的研究資料として、そしてその発展の方向を導くための会計史研究の資料として、これらの文献は多大な役割を果たすものである。



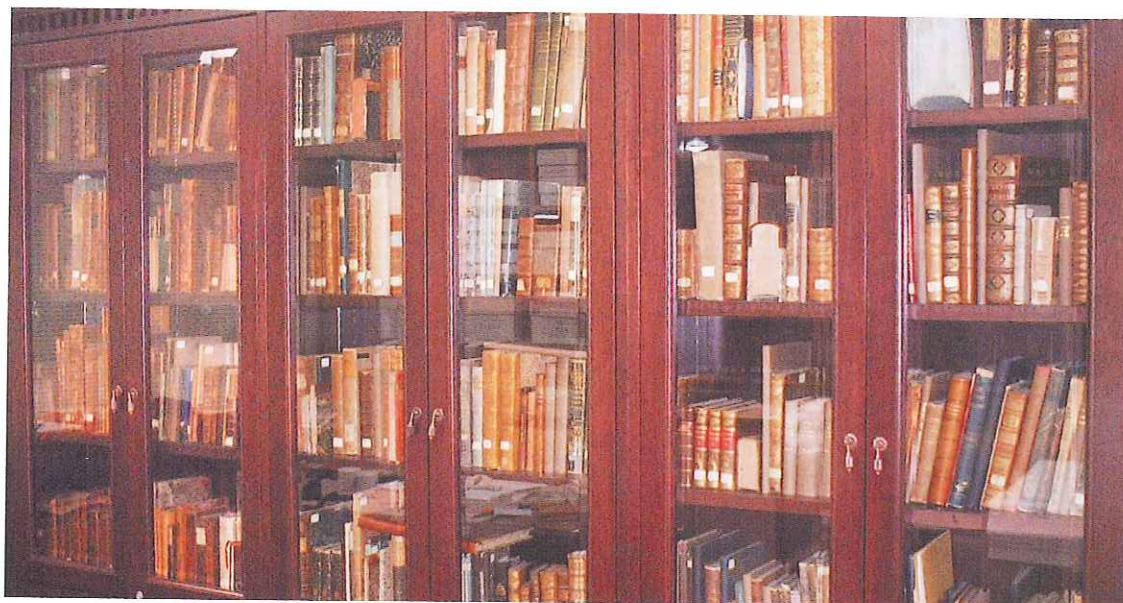
The Herwood Library

久留米大学御井図書館所蔵

ハーウッド文庫 マイクロ版集成

The Herwood Library of Accountancy including Books printed between 1494 and 1900

2005年1月出版予定 16ミリマイクロフィルム 208リール セット特価¥4,160,000(税別)



このコレクションは、1938年に“The Herwood Library of Accountancy: A catalogue of books printed between 1494 and 1900 in the Herwood Library of Accountancy” (1981年にもその復刻版が出ている)として蔵書目録も出版されている会計学・簿記の貴重なコレクションで、蔵書には1494年に出版された最初の簿記書として知られる「ズンマ」から始まり、19世紀後半までに出版された殆ど重要な会計学・簿記に関する著作1,320点が世界各国から収集されています。

ここには会計学及び簿記の教科書、簿記や会計学に貢献した章を含む書物や会計学・簿記の発展過程にあった算術、計算早見表、会計学者のための数学補助書、簿記・会計学教師のための解説書、商人のための入門書や政府によって発行された法令、規則、簿記・会計学の教科書の補助のために考案された帳簿や日誌のような補助教材などが含まれています。

分売価格(税別) ()内は収録点数

- ① Italy (66) 14 reels ¥322,000
- ② Holland (43) 8 reels ¥184,000
- ③ Great Britain (336) 55 reels ¥1,265,000
- ④ Central Europe-Austria, Czechoslovakia, Denmark, Germany, Hungary, Poland, Sweden, Switzerland (140) 33 reels ¥759,000
- ⑤ France and Belgium (62) 19 reels ¥437,000
- ⑥ Spain and Portugal (16) 5 reels ¥115,000
- ⑦ America-Canada, Cuba, USA (568) 73 reels ¥1,679,000
- ⑧ Japan (2) 1 reel ¥23,000

(発売・出版:丸善株式会社)

M丸善

〔学術情報ナビゲーション事業部〕
〔商品本部 企画開発部〕

〒103-8244 東京都中央区日本橋3-9-2 ☎(03)3272-3867 <http://www.maruzen.co.jp>

東京営業部・千葉営業部・八王子営業部・大宮営業部・札幌支店・仙台支店・盛岡営業所・筑波営業部・
神奈川静岡営業部・名古屋支店・岐阜営業所・金沢支店・京都営業部・大阪営業部・神戸営業部・
岡山支店・松山営業所・広島支店・福岡支店・長崎営業所・熊本営業所・沖縄出張所